

金融仲介機能のベンチマーク (定義、評価基準と着眼点)		(稚内信用金庫：2019.04.01)	
(はじめに) 信用金庫法第1条に定める「目的」が意味する金融仲介機能は、単なる資金仲介や金融サービスの提供のみにとどまらず、地域と地域を繋ぐ役割、事業と事業を繋ぐ役割、人と人の繋がりを広げる役割など、地域社会の広範な分野に関する責任を担う社会基盤的存在であり続けることを求めている。 稚内信用金庫は昭和36年に制定された〈信条〉の下、地域社会の発展に寄与すべくお客さまとの信頼関係醸成に努めてきたが、それを可能にする最も重要な基礎的要件は、地域社会の一員たる役職員の資質向上と満足度向上にこそあり、あらためて金融仲介機能のベンチマークを以下に示す。			
〈 信 条 〉		ベンチマーク (評価基準項目)	
前文	稚内信用金庫は地元と共に繁栄します	①	職場外の社会活動団体に参画している延べ役職員数
一.	勇気と矜りをもって限りなき進歩を、 そして発展を	②	主たる営業地区における預金と貸出金の市場占有率
一.	お客様には親切に、早く、正確に、 そして真の奉仕を	③	役員員総数の内、主たる営業地区区内出身者の構成比
一.	従業員には安定した生活を、 そして幸福を	④	次世代の経営者を育成する「てっぺん塾」受講者数
一.	会員には良質な資金の供給を、 そして公正な配当を	⑤	常務会メンバー主催懇談会の実施時間と参加職員数
一.	より強固な基礎を築くために蓄積を、 そして大きな信用を	⑥	QC活動のサークル結成数と活動参加延べ役員員数
一.		⑦	融資担当者と得意先担当者の一人当たり出資会員数
一.		⑧	中小企業診断士等外部専門家の相互連携組織会員数
一.		⑨	営業店舗・事務機器・職員住宅等の年間設備投資額
一.		⑩	全職員の内、継続雇用も含む非正規雇用の構成比
一.		⑪	家族を含む役員員の健康管理関連経費の年間支出額
一.		⑫	職員一人当たり平均年間就業時間と有給休暇取得率
一.		⑬	定期性預金比率と店頭表示超金利付与の預金受入額
一.		⑭	法人向け当座貸越契約の承認先数と設定限度の総額
一.		⑮	手形貸付の極度扱い稟議承認先数と設定極度の総額
一.		⑯	公的助成金制度申請手続き支援の採択件数と採択額
一.		⑰	行政機関等による公的融資制度の取扱件数と実行額
一.		⑱	配当負担の無い利益剰余金の額と単体自己資本比率
一.		⑲	選任地区別総代懇談会の総代および選考委員出席数
一.		⑳	役員員総数に占める職員外の理事および監事の構成比
		理事長の着眼点	
		地域へのコミットメントコストを可能な限り負担しているか	
		地域の雇用機会提供と深い地域密着体制を維持できているか	
		地域の将来を担う経営者の育成に日常的な努力をしているか	
		役職員の資質向上に組織的に日常的な努力を継続しているか	
		事業性評価に不可欠なお客さまとの対話機会が充実しているか	
		お客さまの多様な経営課題に対処可能な体制ができていないか	
		金融仲介機能の実効性を高める業務環境が整備されているか	
		金融仲介機能の実効性を高める人事の安定化が図れているか	
		重要な簿外資産である役員員の健康を良好に保っているか	
		地域社会の様々な活動に参画する私的時間を創出しているか	
		事業性評価融資の原資たる安定した資金調達ができているか	
		日常的な事業性評価による迅速な運転資金供給ができているか	
		比較的有利で多様な資金調達手段の活用を支援できているか	
		過度な担保保証依存が不要な信用リスク負担の余力はあるか	
		公正な金融仲介機能を維持する実効性あるガバナンス態勢か	

※主たる営業地区とは、稚内市を含む宗谷総合振興局管内、天塩町、遠別町、雄武町です。
※庫内用資料

金融仲介機能のベンチマーク (直近3期データと自己評価)				(稚内信用金庫：2019.05.13)	
ベンチマーク (評価基準項目)		2016(平成28)年度	2017(平成29)年度	2018(平成30)年度	自己評価 (理事長の見解と課題)
①	職場外の社会活動団体に参画している延べ役員数	延べ1,357名	延べ1,955名	延べ2,188名	役員300名弱対比で700%超、地域との信頼関係は一段と強固に
②	主たる営業地区における市場占有率 (預金)	82%	82%	83%	地域における資金仲介機能 (信用リスク負担 + 資産形成支援) の責任は十分果たしている水準にあるが、地域の持続可能性を高めるため、新たな資金需要の創出を促す努力の余地あり
③	主たる営業地区における市場占有率 (貸出金)	56%	55%	55%	地域社会との一体感や特異な地域性をアピールできる水準にある
④	役員総数の内、主たる営業地区区内出身者の構成比	延べ221名	延べ203名	61%	定着してきたが、より若い世代の塾生参加を促す努力の余地あり
⑤	次世代の経営者を育成する「てっぺん塾」受講者数	*	49時間	(半期集計)延べ111名	経営陣と職員の意見交換機会が充実、庫内の意思疎通に効果が大きい
⑥	常務会メンバー主催懇談会の実施時間と参加職員数	45サークル延べ371名	46サークル延べ369名	361時間 延べ1,771名	本来の活動趣旨が浸透してきたことで、取り組みテーマが多彩に
⑦	QC活動のサークル結成数と活動参加延べ役員数	314会員	313会員	285会員	会員との対話機会確保に十分な体制は整っているが、事業性評価や資産形成支援に係る職員個々の力量不足が課題であり、引き続き大いなる努力の余地あり
⑧	融資担当者の一人当たり出資会員数	182会員	184会員	187会員	士業会員とのネットワークを活用した連携協働の事例が増加傾向
⑨	得意先担当者の一人当たり出資会員数	27名	34名	56名	前年に大型店移転新築が重なり、今期はメンテナンス中心に抑制
⑩	中小企業診断士等外部専門家の相互連携組織会員数	522百万円	1,403百万円	152百万円	65歳定年制導入 & 再採用職員増により非正規雇用は順調に縮小
⑪	営業店舗・事務機器・職員住宅等の年間設備投資額	79百万円	92百万円	93百万円	生活習慣の改善指導等きめ細かい健康管理支援策拡充の余地あり
⑫	全職員の内、継続雇用も含む非正規雇用の構成比	13%	11%	10%	有給休暇の計画的取得など適切な時間管理の意識は浸透してきたが、さらなる業務改革による実質就業時間短縮に努力の余地あり
⑬	家族を含む役員・健康管理関連経費の年間支出額	1853時間	1838時間	1834時間	安定調達の目途と位置付けている70%超の水準を維持できている
⑭	職員一人当たり平均の年間就業時間数	71%	69%	69%	流動性リスクの高い金利選好型の預金受入は十分抑制されている
⑮	職員一人当たり平均の有給休暇取得率	73%	72%	71%	当座貸越の取り扱い増により融資担当者の事務負担は軽減されつつあり、今後は、より多くの時間を融資先事業の実態把握に活用することを期待
⑯	定期性預金比率 (期中平均)	9先	5先	5先	着実に成果は実現できているが、お客さまへの各種制度に係る情報提供や関係各公的機関との連携態勢強化には、さらなる努力の余地あり
⑰	店頭表示超金利付与の預金受入額 (先数と期末残高)	44先	58先	68先	内部留保が500億円の大口に到達し、地域経済の信用リスクを負担する力は高水準を保っているが、不断の資産構成見直しによる中長期的な収益力向上にさらなる努力の余地あり
⑱	法人向け当座貸越契約の承認先数と設定限度の総額	19先	14先	12先	懇談会に加え、総代 & 総代選考委員と個別に懇談する機会も増加
⑲	手形貸付の極度扱い裏議承認先数と設定極度の総額	18件	29件	28件	ガバナンスの実効性が十分機能し得る経営体制が整備されている
⑳	公的助成金制度申請手続支援の採択件数と採択額	471件	491件	553件	※主たる営業地区とは、稚内市を含む宗谷総合振興局管内、天塩町、遠別町、雄武町です。
㉑	行政機関等による公的融資制度の取扱件数と実行額	491億円	497億円	500億円	※庫内用資料
㉒	配当負担の無い利益剰余金の額	57.32%	54.04%	(暫定値) 52.89%	
㉓	単体自己資本比率	104名	97名	103名	
㉔	選任地区別総代懇談会の総代および選考委員出席数	33% (5名/15名)	33% (5名/15名)	33% (5名/15名)	
㉕	役員総数に占める職員外の理事および監事の構成比				

*⑤2016年度未集計、2017年度は理事長主催懇談会のみ